

令和5年度 青森県立八戸西高等学校 スポーツ科学科第2学年  
「8(八戸)フェスティバル」八戸駅西口シンボルロード活性化イベント

実施年月日: 令和5年9月30日(土)

実施場所: 八戸駅西口シンボルロード仮設ステージ

概要: 上長地区町内連合会および八戸駅かいわいで盛り上がり隊は八戸駅シンボルロード周辺の活気ある街づくりの一環として、歩行者天国のイベント実施を計画している。昨年度、八戸圏域高等学校地域活動促進事業で作成した、「おうちでできる簡単エクササイズ」をステージで実演し、八戸駅シンボルロード周辺を盛り上げ、地域との連携を図った。



スポーツ科学科生徒の感想

小田 尊琉(八戸第二中学校出身・バスケットボール部) 今回の西口活性化イベントでは、自分たちが考えたエアロビクスを披露しました。このエアロビクスは、老若男女誰でも踊れることを第一に考え作っていきました。そして、エアロビクスを考えるだけでなく、曲のリズムにあったものを考えなければならぬので苦戦しました。いざ本番となると緊張しましたが、楽しく元気に踊ることを意識しました。子供から大人まで全員が一生懸命踊っていて安心しました。そして踊り終わると、大人からすごく良かったと褒められとても嬉しかったです。この経験を活かして、自分の新たな成長に繋げていきたいと思いました。

松野 爽椰(小中野中学校出身・バレーボール部) 昨年習ったエアロビクスをフラットアリーナで行われるイベントで発表した。bpm の速さに分かれて、それぞれ学んだことを活かしてステップを考えました。簡単に見えるが、いざみんなでやると、リズムが合わなかったり左右の動かし足が合わなかったりして難しいと感じた。繰り返し練習して、本番はみんな上手くいったと思う。本番を終えて、一緒にやってくれたお客さんにまだうまく説明できていないと思った。お客さんは、言葉ではなく、お手本で動いている生徒を見てエアロビクスをしており、難しそうにしていた。そこでスポ科の生徒が掛け声をかけて、一緒にやってくれた人たちをリードし、笑顔にして盛り上げていた。なかなか言葉で動きを説明するのは難しいが、一緒にやってくれた人たちに楽しかった、またやりたいと思ってもらえていたらとても嬉しい。